

## 集団的自衛権

## 自衛隊を戦地に派兵?!

# 海外で若者に血をながさせる 日本にしているのでしょうか

日本共産党県会議員団

### 「自衛」とあっても 日本の防衛とは無関係

集団的自衛権とは、日本への武力攻撃がなくても、他国のために武力の行使をするということ。「日本が攻められた時の防衛」の話ではありません。

集団的自衛権の行使を可能にすれば、アメリカがイラク戦争のような戦争を起こしたとき、自衛隊が「戦闘地域」で軍事支援を行い、隊員が殺し殺される危険が現実のものに。

そればかりか、閣議決定は、自衛にとどまらず「集団安全保障」に基づく武力行使にも拡大の余地をつくり、憲法の「戦争放棄」を投げ捨てました。

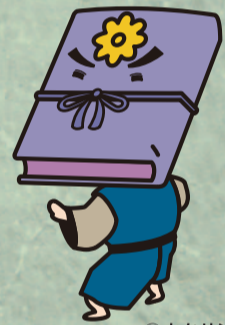


### 首相の勝手な解釈変更で やっていいことはありません

歴代政府が長年、憲法9条に照らし「行使できない」としてきた集団的自衛権を、閣議決定だけで行使できるようにする、安倍政権のクーデター的なやり方に、立場の違いを超えて批判が高まっています。

県議会でも自民党議員の1人が「憲法改正論者だが、姑息なやり方でなしに憲法改正するのが王道」と発言。時の政権が勝手に憲法解釈を変えることは許されません。

日本共産党県議団は、県民のみなさんとともに、安倍政権の暴走を止めるためにこれからも力を尽くします。



©カクサン部!

6月議会

### 「閣議決定強行するな」の請願 日本共産党が採択に奮闘

自・民・公は反対

全国各地の地方議会で、自民・公明の議員も含め「集団的自衛権反対」の意見書が出る中、兵庫県議会では、共産党と無所属3名以外の会派・議員は、意見書採択を求める請願に反対。地方議員にも国の暴走政治への態度が問われます。

反対した会派の討論より(要旨)

#### 自民

「わが国の安全保障をめぐる環境が厳しさを増す中、集団的自衛権行使をこれまで通り単純に否定することが本当に正しいのか。政府与党協議は立憲主義に即したものだ」

#### 民主

「臨時的・意図的な変更は立憲主義に反し、集団的自衛権の行使につき解釈を正面から変更することは許されないが、一面だけをとらえ反対する趣旨には賛同できない」

#### 公明

「慎重な議論は必要だが、政府与党協議で個別事例に照らして検討しており外交努力とともに安全保障法制の検討も必要なことから賛同できず不採択とせざるをえない」

### 県の防災訓練に 米軍参加?!



県が8月に行う阪神8市町との合同防災訓練(芦屋市)に、在日米軍の参加を求めたことが明らかになりました。事故を繰り返している「オスプレイ」の参加も打診。

在日米軍は、災害救助でなく、戦争のため日本に基地を置き、日本の陸・海・空を自由に使い出撃に備えた訓練を行うために駐留しています。

低空飛行訓練で県民を危険にさらしている米軍を防災訓練に引き入れるなどんでもないことです。

## 日本共産党

### 兵庫 県会報告

発行所 日本共産党兵庫県議員団  
神戸市中央区  
下山手通5丁目10-1  
(078) 341-7711 内線5251  
2014年夏季号(第156号)

県会議員団

検索

兵庫県議会議員  
文教常任委員

# きだ 結 ゆい

1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者支援。2011年4月県議会議員に初当選。地域では、保育所父母の会会長をつとめる。渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人。

Facebook・Twitter発信中  
ブログ きだ結 検索

